

主催する側からの コミケット

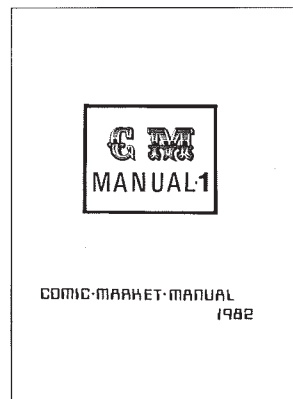
—— 理念・準備会・システム ——

コミケットはお祭りではあるが、同時にマンガを始めとした表現の拡大、自由な場の創出を目的として続いてきたムーブメントでもある。場を提供し、持続させていくことにその意味の多くはある。そうした場を作り、取り仕切るのがコミックマーケット準備会というボランティア団体だ。その理念や考え方、構造はよくあるようであり、実は存在しにくい形態でもある。発行物の資料リストもまた準備会の歴史だ。

参加サークルが急速に増え、5周年を過ぎる頃には、最初の頃のような連帯感も薄れ、世代間のギャップと言った物も生じてきました。そのような状況を改善するためにはコミケットと準備会について参加者に文章で再確認してもらう必要があるとの考えから、コミケットマニュアルはC21（1982年夏）に作られました。注意事項など、時代や状況によって変化した物もありますが、コミケットの理念と目的は第1回から変わっていません。改めて文章にすることによって、準備会が当初の理念や目的から外れないようにする意味もあるのです。

1年ごとを基本に、会場の変更などと共に改訂版が作られました。

1987年8月13日発行のC37(1987年冬)から、参加の御案内と参加申込書と一体になった冊子となり、現在もこの形式が続いています。ここでは初期のマニュアルを通して、コミケットの理念を理解していただきたいと思います。



COMIC MARKET MANNUAL 1982
表1 1982年2月14日発行

目次		P
●コミック・マーケットの設立主旨	コミケットは何のため作られ、続いていくのか？	3
●コミケットについて考えてみよう	あなたにとってコミケットとは何なのか？	4
●コミケットの理念と目的	どんな理念と目的があるのか？	5
●コミケットのプロセス	その手配とスケジュールをどうやってやる？	6
●参加サークルはどうしたらよいか	参加サークルの申し込みと対面のやりかたは？	8
●当日の手順及び義務と心得	当日の手配とサークルの義務、禁止行為は？	10
●コミケット準備会とは…！?	準備会とは何か、役割、権限は？	12
●コミック・マーケットの歴史 1～23まで	これまでコミケットはどのようにして来た？	14
●現在の向題とサークルへのお願い	今コミケットはどんな状況でいるのか？	16

COMIC MARKET MANNUAL 2
P2 1983年3月1日発行

コミック・マーケットの設立趣旨

コミック・マーケットことコミケットは、同人誌、ファンジンの展示即売会という形で、孤立し、仲間内にとどまりかねないマンガ同人誌活動を広く一般にアピールする為の場として創られました。マンガに関わる人達の営為としての同人誌は、印刷したとたん、不特定多数に向けられた一つのメッセージとなります。そのメッセージは、送り手と受け手があってこそ、はじめて一つの表現となるはずで、マンガの描き手の立場からするならば、描かれた作品はより多くに向けてアピールされなければならなかったし、読み手も又、新しい可能性を持った作品に出会いたいという欲求を強く持っていました。送り手と受け手が同人誌という作品を通じて出会える場所、それがコミケットの場としての基本です。

さらに、コミケットは「場」であるが為にそれ以上のものを容認していくこととなります。単なる売買だけではなく、同人誌を通じたコミュニケ

ーション、出合いはもちろんのこと、人と人との出合いも場の機能に含まれています。このことが、コミケットを、マンガ、アニメファンの社交場としているのかもしれませんが。

お祭りとしての性格もそこから生まれて来るでしょう。「祭り」とは日常の中に一日現われてくる「ハレ」の日のことです。祭りに参加する者達は、その祭りをより面白く、よりすばらしい物にするために、祭りとの間の日常を準備期間にしなければならないと思います。云うまでもなく、それはサークル活動であり、個々の創作活動のことです。祭りをいかにすばらしい物にするのかは、参加するサークル、個人の問題でもあるのです。同人誌活動の結実としての同人誌、それは一つの商品であると同時にまぎれもない一つの作品です。「場」であることに徹することで、コミケットは、マンガ、アニメに関わるあらゆる表現行為を許容し、可能性をすくいとっていかねばなりま

せん。少しでも先に進もうとする人達の為に、そしてそれを受け入れていこうとする人達の為に、コミケットはマンガ、アニメファンの自由空間として、維持されていく必要があると考えます。

又、コミケットは、参加者達の自由な意志が反映されることで、状況を写す鏡であることも忘れてはなりません。偏狭な創作至上主義や、マンガが上で、アニメが下といった見方は、ヒエラルキーをつくりこすすれ、可能性を閉ざす危険性の方が大きいと云えます。コミケットは十全に、参加者の意志や指向を受け入れていく為、変わり続け

コミケットの理念と目的

☆コミケットは、マンガ、アニメを中心とした同人、ファン活動に関わる人達のコミュニケーションの場であり、一般に向けられた表現の発表の場である。

☆場である事を前提としている以上、コミケットに参加の意志を持つ、サークル全てを許容していかねばならない。(但し、他人に迷惑をかけたり、場の運営に支障をきたすような意図を持つての参加は見あわせてもらう場合がある。)

☆コミケットは、基本的に、企画参加者としてのサークル、読み手としての一般参加者、そして準備会の三つを構成人員として行われる、マンガ、アニメファンの交流会である。コミケットを取り行うのは全ての参加者であるというのが基本である。

☆参加者全員は、全て平等の立場にあり、開場から閉会までのコミケットの時間は、全て個人の責任において動いて行くことになる。

☆コミケットは、表現において自由な場であらなければならない。それについては、自由を守る立場を貫ぬいていかなければならない。

☆表現に限らず、自由な空間である為上は、参加者の自主性と共に、各自のモラル、常識、自覚が必要とされる。コミケットという場をより可能性のある物にしていく為に参加者は全員、その場を維持していく立場をもって参加してもらう。

☆準備会の立場からの規制をできるだけやる必要がないような形でのコミケットが一番望ましい。又、準備会は、運営上最低必要の形でしか規制を

なければなりません。枠をはめてしまわず、できるだけの広がりを持って、多くの人達の想いを受け入れていくことを失ってはならないと思います。そうした時、あらゆる物のぶつかり合いから、新しい物が生まれてくる現場に立ち合うことができるかもしれないのです。その可能性を信じることで、コミケットは続けられて行くことになるでしょう。

COMIC MARKET MANNUAL 2
1983年3月1日発行より

行わないようにしていくつもりである。

☆マンガやアニメにおける表現の可能性を追求する場としての同人誌を一般に向けてアピールする場がコミケットであり、その場の確保を通じて、描き手達の営為を十分に反映させていくことをコミケットは目的とする。

☆それは新たな可能性を求め人達が作品に出会える為の場を恒久的に用意していくことである。

☆プロや既製の物にはない新しい形でのマンガ、アニメの展開を結実させていく為のファン活動、創作活動を行う人達の為に、出合いやぶつかり合いを通じて、刺激を与えていく活性剤の役割をコミケットは果たさなければならない。

☆マンガ、アニメファンは皆同じ立場に立つことを信じることで、作品を含めた出合いによって、全てが連がり合える状況を創り出していくことを目的とする。それは、人間、メディア、作品全てが、「表現」であることを前提とした、対話の活性化による、十全なる交流である。

☆コミケットは、マンガ、アニメファンが、コミケットを必要とする限り、なんらかの形で恒久的に続けられていかねばならない。

☆コミケットは、容器である故に、参加者や状況の変化によって、その内実は変わり続けていくことになる。それが、明日を閉ざさないやり方である事を信じる。

COMIC MARKET MANNUAL 2
1983年3月1日発行より

準備会の立場と構造

コミケット準備会とは、コミケットを開く為の準備、事務、当日の運営を行う団体のことです。恒常的な事務や手続き等は事務局によって行われます。

当日の運営を行う拡大準備会はコミケット3～4週間前に行われる準備集会で正式に結成され、当日の夜を持って解散という形をとります。

準備会スタッフは原則的に全員ボランティアで、入会資格はありません。特別な場合の交通費等の補助はありますが、ほとんど自費で動いています。2～3回スタッフとして参加し、ノウハウが飲み込めた時点で、中心スタッフという形になります。

コミケット当日までに行う準備会の仕事は、主

準備会の判断と規範

基本的に準備会に、権力は存在しません。サークルに対する強制力もなければ、権限もないというのが、現実です。ただし、運営の面で、指示を下したり、起こった問題について判断を下すことがあります。が、基本的にコミケットはみんなで作っていくという理念がある以上、命令でもお願いでもなく、いっしょにやっていくという協力体勢が組めることがベストだと考えます。

以下、準備会が、自らの判断で行うことをあげます。つまり、準備会に任せてもらう部分です。

- ・会場や期日の判断と予算案。
- ・スペース満了の時期と、それによるお断わりの決定。
- ・サークルのスペース配置。
- ・販売する物が特別な場合の判断。
- ・運営面に関する細かい点での変更についての判断。
- ・当日における禁止行為や、違反行為に対する判断。
- ・防火や事故対策に関する誘動や、指示についての判断。

コミケットに関する大きな方針変更やシステムの変更については、サークルへ広く聞いていく姿勢で行うようにする。

に事務、編集作業で以下の通りです。

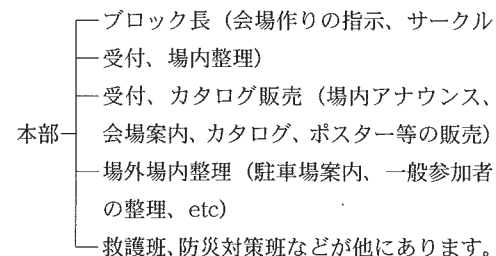
- ・会場探しと契約及び会場側との打ち合わせ。
- ・時期予算案の決定と、それに基づく申し込み書の作製。
- ・各マスコミへの宣伝文送付。
- ・申し込み書の受付と整理、他、連絡。
- ・消防局、警察所への届け出と、防災計画の立案。
- ・申し込み状況による会場配置の決定とサークル配置の送付。
- ・準備集会和総会の運営、サークルとの対応。
- ・ポスター、当日サークル配置ちらしの作製。
- ・会場作り、当日の一般参加者の人員整理、サークルの受付。
- ・起こった問題の処理、会館との対応etc。

コミケット準備会が自らに課すべき禁止事項として次のことをあげます。

- ・表現及び、表現行為の自由については、守る立場を保持し、作品や同人誌に対する介入、批判等はいっさい行なわないものとする。
 - ・物理的限界（スペース満了）以外の理由で、参加希望するサークルに対して参加拒否を行うことは絶対がない。ただし、コミケットの理念に関わる場合はこの限りでない。一般マンガ、アニメサークルについて問題はないと思われる。ただし、悪質な違反行為や義務を守らないといったサークルに対しては、こういった準備会に対する権利を放棄したものとみなして対処していく。
 - ・運営をスムーズに行う為だけの入場規制や場内警備という形で、全体を押さえつけていくことを避ける。あくまで場を保持する為の保安が問題となる。
 - ・以上を自らに、課し、準備会が独走したり、サークルや一般参加者の自由な活動を圧迫したりする事がないように心がける。もし、逸脱があった場合、サークルは準備会に対し、意義申し立てを行ってほしい。
- 拡大してしまったコミケットに対処していく為

に準備会再編が望まれている。とりあえず、当日運営の為に拡大準備会というシステムとそれにプラスしたスタッフマニュアルの作製を予定している。また通常の活動と準備会自体が何らかの遺産を残していく為に事務局と編集局の設立が予定されている。いつでも募集している準備会スタッフなので、連絡さえあれば、すぐ準備会の魔の手がのびるのである。乞スタッフ（頑健にてヒマで、多少の常識がある方）！

- ・閉会後の後始末と、見本誌や資料の整理。
 - ・コミケット年鑑他、準備会企画の発行物の編集作製。
 - ・コミケットカタログの編集。広告とりetc。
- そして拡大準備会において当日の編成が決定され、打ち合わせが行われます。



これが当日の編成で、バッジと腕章をつけているのが正式スタッフです。

準備会スタッフはできるだけ束縛を受けないような形で準備活動を行うようにしています。一回につき、3～4回的事务、編集集会和、準備集会和、当日、の6～7日をコミケット活動に使っているという形です。コミケットそのものを目的にしてマンガ、アニメ活動を行うというより、自らの同人誌活動の為にコミケットに手を貸すという意識が強くあるべきだと考えているからです。

現在、通常の運営は、米沢以下4～6名で会場申し込み等の立案決定を行い、坂野以下5～6名で事務処理等を行い、他5～6名が常時手伝うという形で行われています。

事務集会和は10～20名ぐらいが普通です。なお、当日は、当日お手伝い、サークル単位の準備会参加等で80～100名が動いていますが、コミケット及び準備会としての判断決定が行えるスタッフは3～40名ぐらいと考えて下さい。

COMIC・MARKET・MANUAL・2
1983年3月1日発行より

現在では、はてさて「コミケット準備会」とは何者か？ というタイトルになっていますが内容はほぼ同じです。大きく変わったのが当日の編成で、現在は以下のようになっています。

- ・館内担当（会場作り、サークル窓口、会場内の整理、運営）
- ・受付販売担当（問い合わせ対応、遺失物取扱、準備会発行物、カタログの販売）
- ・入口担当（場外の整理）
- ・場外販売担当（一般参加者向カタログ販売）
- ・場外救護担当（急病人の補助）
- ・搬入部（印刷会社対応）
- ・公共地区担当（共有スペースの整理）
- ・企業対応部（企業スペースの運営、宅配便対応、企業対応）
- ・更衣室担当（コスチュームプレイ用更衣室）
- ・救護室担当（保健室程度の応急手当）
- ・その他（本部、防火対策、会計）

以上が当日の主な編成で、準備会スタッフは全員、スタッフ証(名札)、腕章をつけています。

現在二千数百人が、当日のスタッフとして、動いています。通常、コミケットサービスと連動しながら事務作業を行っているスタッフは、十～三十名です。

コミックマーケットマニュアル67
2004年8月12日発行より

初期のコミケットでは、喫茶店でサークルを集めた事前企画参加集会を行っていました。参加サークルが増えると集会所を借りて、当日の打ち合わせや、参加申込みの確認、配置作業、などが行われました。コミケット当日以外のサークルと準備会の大切なコミュニケーションの場でもあったのです。参加サークルが増えて配置が準備会に一任される形で行われるようになるにつれて、出席率が低下してきました。同時にコミケットが大きくなった事によるコミュニケーションの不足もめだってきました。これらを改善するために、コミケットアピールやコミケット新聞、さらに、マニュアルが作られました。同時に直接のコミュニケーションの場を維持しなければならないとの考えも強くあったことは、再確認された、設立趣旨からも明らかです。そのための場として考えられたのが、事前集会とサークル総会です。

コミケットのプロセス

事前集会とサークル総会

・事前集会とは基本的に参加サークル対準備会の形で行われる。当日の混乱を避ける為の、サークル申し込み書のチェック、確認が主な業務である。サークルは、受付の場所でサークル名を言い、申し込み書の確認、及び必要な受渡しをする。ここで見本誌提出と、ポスター配布、合体確認等がおこなわれ、おおよその配置がわかることになる。
 ・事前集会に来る人間は、最低自分のサークル名、代表者名わかっている人がくるようにする。代理でもかまわないが、必要最低条件は満たしてい

る人が望ましい。

・受付がすんだら大会場でのサークル総会が2回に分けて行われる。主に、準備会からの状況報告や、予定案が示された後、前回の問題や今後の方針について、意見等をサークルに求める。
 ・サークルの意見をコミケットに生かすためのコミュニケーションの場としてサークル総会はある。ここで出された提案や意見等その場で話しあわれるが、コミケットの運営の大きな変更にかかわるものに関しては、サークル向け配布物等において考えていくことにする。(アンケート等)

どのようなシステムで開かれるのか？

この項目が次のマニュアルでは以下のように変更され、現在の拡大準備集会の愿形になります。

これまで行ってきた事前集会は、83年度以後なくなり、変わって、準備集会を行うことになる。これは義務でなく、初参加で不安なサークル、参加内容の大きな変更のあるサークル自主企画を予定しているサークル、準備会に意見のある人等を参加者として行う。
 準備集会の機能の大きなものは、当日の運営の為の拡大準備会を結成することである。これは、当日であれば準備会を手伝ってもいいというサークルや個人、前からのスタッフを集めて、1回ごとの当日運営スタッフ団体を作ることだ。ここでは、当日の机の並べ方、チェックのやり方、場外整理、救護、防災対策などについての打ちあ

わせ、コミケットの状況などについての話しあいが行われる。なお、拡大準備会は、準備集会の日に結成され、コミケ当日の夜解散される。もちろん、そのままスタッフとして残ってもらえればこれにこしたことはない。

・2日間の参加を義務として、コミケットを中から眺めてみたい、もっと知りたい、なにかやりたいという人がいましたら、是非一度おいで下さい。

その他、コミケットについての提案、不満etcについても話しあいを行う。

COMIC・MARKET・MANUAL・2
 1983年2月14日発行より

会社は何をし、準備会とどう関わっているのか？

1985年4月株式会社コミケットが創立されました。基本的に、一千万円以上のお金の管理、会社官庁への対応、税務上の問題、といったものをアマチュアレベルでやっていくことが難しくなった為です。

会社は、コミケットに関するサービスの提供を目的に設立されています。毎日の連絡や事務を行なう為に常駐が必要であり、電話連絡、出張機関等の必要は前から言われていました。その為の場所(店)を作ることから始めなければなりません。古本屋、同人誌販売店、情報センターの性格を持つ「コミケットサービス」の開店で、そういったものをフォローすることができると考えたわけです。店は、いずれ、あらゆる形でのサービスを行なっていく予定です。古本販売の利益で店は運営されますが、これも会社で扱います。

もう一つは、コミケットに関わる発行物の出版、販売です。カタログ、セレクションといった出版物は、会社から出していくことになります。これは主に、事務所、倉庫といったものの維持へ収益は回されていきますが、コミケットに赤字が出た場合、賛助金といった形で還元されていきます。主に、コミケットに関わる部分で、通常収益部門と見なされる部分を会社で取り扱うということになります。

これ以外に、会社で行える行為として、編集、企画請負、人材バンク、データベース業(主に、マンガ、アニメ、SF等に関する資料)、同人誌の流通取次、輸出入代行、図書館運営等があげられています。今のところ、店と従来の出版のみ行なっています。

その後、会社法の変更に伴い、1996年に有限会社コミケットとして再スタートしました。

有限会社コミケットは、イベント「コミックマーケット」の開催の他、コミケットカタログ、他出版物の発行、同人誌古書店「コミケットサービス」、モンドショップ「B-maniax」の営業などを行っています。また、96年6月よりマニアの

コミックマーケットが会社になったという形ではなく、コミックマーケットというイベントに附属する諸々のサービスを行なう機関が会社として設立されたと考えて下さい。一般の社会ではこれほどの大きな組織、参加者数、金額(いくら利益がなくても)をアマチュアが扱うことに対する警戒心が残っています。社会的に理解を得て認知されることが必要になってきているのです。

「コミックマーケット」は、「集会」という形をとり、会員(参加サークル)が全体にかかった費用を分担して負担するということになります。参加者が会員であり、会員が集まる大会としてコミケットは規定されます。これは、今まで通り準備会=事務局によって運営されます。毎回会員サークルを募り、配置と当日の集会を行う任意団体として準備会はあるという形になります。会社は準備会の情報を使ってカタログを作らせてもらい、当日、その会場で販売させてもらう代わりに、作業の場の提供、事務整理等を手伝うこととなります。基本的に会社は「コミックマーケット」という集会に倉庫、事務所、連絡機関を提供しておりコミケットは会社にカタログ制作のための情報を与えているという関係だと考えて下さい。ただ、この会社は営利を目的としていない性格があるため、様々な問題があります。

いずれこの形では対応できなくなっていく日がくるかもしれません。急激な膨張は、また様々な問題を起こしていくことになっているようです。

コミックマーケットマニュアル41
 1991年8月16日発行より

ためのフリーマーケット「東京マニアックス」というイベントも開始しました。

コミックマーケットマニュアル53
 1997年8月14日発行より

現在でも事業内容に大きな変化はありません。あくまでコミケット本体のサポートが(有)コミケットの中心の仕事となっています。

コミックマーケットは全ての参加者によって作られる場です。とはいえサークル参加者によって決まる部分が多いのも事実です。また、始めにコミケットありきではなく、サークルがあってこそこのコミケットであり準備会なのです。これまでのところでこのようなサークルとコミケットと準備会の関係性はご理解いただけだと思います。ではサークルはどのようにしてコミケットに参加するのでしょうか？ここでは初期のマニュアルを掲載します。現在とは違っている点もありますが基本的な流れは同じです。

サークルの参加システム

コミケットに参加する条件は、マンガ、アニメ、SF、ロック及びその他周辺で活動を行っているサークル、個人で、同人誌他を自費で出版している所。法人や営利目的中心の団体はお断わり。基本的に自費出版物を一般にアピールしたいところに限る。

企画参加の方法は、同人誌、ファンジンの展示即売を中心に、ポスターイラスト等の展示即売、原画展示、チラシ配布などによって行われる。小物類（便せん、ノート、イラストブック、バッジ、うちわ、人形、Tシャツetc）などもオリジナルである限り構わない。

大道芸、ビデオ上映、etcの企画については会場の都合があるので事前打ち合わせの上、許可されることになる。晴海の場合、8mm上映、ビデオ等は現在のところむずかしい。

コミケットで販売してはならないものは、オリジナルでない物。識別が難しいこともあるのでアニメセル全て、TVからの写真、著作権を無視した設定書コピーだけによる本、古本等。見つけた場合これからの参加をとりやめてもらうことになる。

参加希望サークルは、申し込み書類を入手（コミケ会場及び手紙）したら以下の要領で参加申し込みを行う。

- ・申し込み書を指定の要領で書く。資料にする為にできるだけ正確に、全てを書きいれるようにする。出した後に変更があってもかまわない。
- ・アンケートはこれからの参考にするので思うことを書いてほしい。批判等に対しては正面から受けとめるつもりなので、それによって参加拒否

企画参加者は参加証を提示してすみやかにサークルゲートに入り、代表者1名は自分のブロックNo.と見本誌を持ってブロック毎のサークル受付所へ行

云々する事は絶対ない。

・カードは実際の受付、整理に使用するので太線内をわかりやすくきっちり書く事。

カットはコミケカタログに使用し、一般参加者への宣伝案内になるので、上にサークル名、ワク内には会場名や定価、PRカット、できるだけ住所も書き入れる。その他カタログ内の前回のメモリアルとして、前の回のエピソードのカットを募集します、面白いエピソードがあれば送って下さい。

・配置確認の返信封筒は表にはっきり自分の住所氏名を書き「様」まで書くこと。

・参加費、は無記名定額小為替にして入れる、切手はダメ。

以上①参加申し込み書、②カード、③自分の住所氏名を書いた封筒、④参加費の4点セットを受付期間（40日後～1ヶ月間）に準備会に送付する。

・今回から合体希望の欄はなくなる。合体希望の場合、サークル間で話し合って同一封筒で申し込みをすること。

申し込み書が届いた時点で、準備会は配置を行い、返信を行う。

・中に入っているのは、「机の配置番号」「配置図とコミケットアピール」「企画参加証」「設営委員証」（これは領収書の変わりとなる）

・イス券(イスは会場内に入れず所定の場所に積みあげてあるので、この券と交換して自分のところに持っていくこと。)

参加費は、机半分とイス2個を1スペースとする。

き受けを済ます。他の参加者は会場内へ入り、設営を手伝うこと。受けは8時半～10時15分までとする。

返信及びスペース満了返却の通知は締め切り後1週間以内に行うが、コミケット2週間前になっても何の連絡もない場合(事故による未着、発送ミスetc)、すみやかにその旨ハガキで連絡を準備会に対して行うこと。

見本誌提出はコミケット参加サークルの義務とする。提出は開場前受け付け時に行われる。見本誌は資料として使用するが、これは準備会に任せてもらうことになる。

なお見本誌は一誌一冊でよく、それ以上の提示を求めることは絶対ない。

会場に行くのに車を使用することは出来るだけ避けてもらいたい、どうしても車を使いたいサークルは駐車券を発行するので、自分の住所氏名を書いたハガキに裏に小さく駐車券と書き500円の定額小為替と共に申し込み書に同封して送ること。

晴海では路上駐車はかたく禁止されている上、車の乗り入れについても警察からの厳しい自しゅくが通達されているので、会場側とのトラブルを避ける為にも自重してもらいたい。

コミケット開場中は、全てのサークルの自主的責任によって、自己のスペースを管理してもらうことになる。全体に迷惑のかかるような行為や、コミケットの主旨に反する行為を行わない限り、自由に展示即売を行ってもらう。

もし、違反行為や騒動が起こった場合、本部が受

付けに連絡すること。

・会場内での個人的な呼び出しは一斉受け付けない。急を要する場合はその限りではないが、その判断は、準備会によってなされる。

・けが人や急病人が出た場合は本部に連絡する事、救護班が対処する。

・開場中は会場へ電話はしない事。

・閉会のアナウンスがあったら、必ず机、イスの後片付をして、出来るだけ反省会に出席して引きあげる、都合で早く引きあげるサークルは4:30前までは受付に届け出ること。

・届けられた落し物や忘れものは、反省会時及び次のコミケット時に公開する、その時にも持ち主が見つからないものは適当に処分する。手紙等の問い合わせがあれば調査し連絡する。

COMIC・MARKET・MANUAL・3

1984年5月20日発行より

マニュアル発行以前は口頭での説明や簡単な文章でしたが、参加サークルが1000を越えるこの頃になると効率の良いシステムを作り文章で明示しなければならなくなったのです。当然、参加申込み、当日の運営、マニュアルとアピールの構成、これら全てが試行錯誤の状態であり、現在では事前（参加申込み）、設営日、当日と区切って説明していますが、この時点では曖昧な点が多い状態です。

サークルは当日（抜粋）

・各サークルの当日の企画参加者（売り手として入る者）は、全員このマニュアルと申込み書の注意事項をよく読んでおくこと。できれば、マニュアルを一冊ずつ携帯するようにする。知らなかった、読んでないでは困る。あまりひどい場合、企画参加の資格がないものと思えることになる。

・9時半までに会場作りを終え、各サークルは知らせられた配置No.に従って配置の場所につき、ブロック長の受け付けを待つ。ここで到着の確認、見本誌の提出、参加費未払いの場合の徴収を行う。

・10時半の開場までの間、会場はサークルの人間だけとなるが、あまり出歩くと混乱するので自分のス

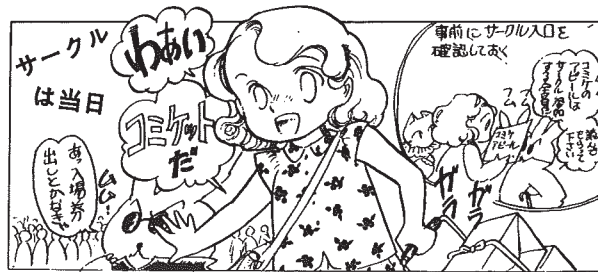
ペースに居ること。それ以前のサークル間での売買はできるだけ控え、あまり騒がないようにする。

・10時20分になったらサークルは売り場に入るようにする。会場内の通路が混乱していると、いつまでも開場ができないことになる。

・10時30分から4時半の閉会の時間まで、各スペースはそれぞれのサークルの責任によって運営される。サークルと一般参加者の間で問題を起さないようにするなど常識だが、起った場合も、できるだけ各自で処理するようにする。

COMIC・MARKET・MANUAL・3

1984年5月20日発行より



コミケットマニュアルも3
までは文字だけで作られて
いました。次に作られた新
版コミケットマニュアルか
ら、より分かりやすく、読
んでもらえるための工夫と
してまんがを載せること
になりました。



新版コミケット・マニュアルより 画・とばりもこ



新版 コミケット・マニュアルより 画・新田真子

コミケットにおけるモラルとマナー

サークル参加者は、マニュアル・アビールなど主催会発行物をよく読んで頭に入れておく。カタログ・申し込み書の内容もよく読んでおいてください。知らない分からないは困ります。

会場内の決められた約束事は、守る！

走らない、暴れない、煙草しない！

生物は赤くない

お祭り騒ぎの音ではめもすがらです。行動には気をつけて！

何かする時は、人のことを考えて

自分ややられたら嫌な事を人にしない。他サークルの迷惑になる行動はしない。

目先の欲望に走らない！

自由と無秩序は違います。自由を守る為には、個々の自覚が必要ですよ。

趣味の場とはいえお金を扱うコミケといふのは、お金の流れをせまらなくしましょう。

趣味の場とはいえお金を扱うコミケといふのは、お金の流れをせまらなくしましょう。

趣味の場とはいえお金を扱うコミケといふのは、お金の流れをせまらなくしましょう。

趣味の場とはいえお金を扱うコミケといふのは、お金の流れをせまらなくしましょう。

趣味の場とはいえお金を扱うコミケといふのは、お金の流れをせまらなくしましょう。

C47 コミケット・マニュアルより 画・川猫めぐみ

コミケットのモラル

あー、実は...!

C42 コミケット・マニュアルより 画・セラピー・田中

準備会スタッフ・マニュアル

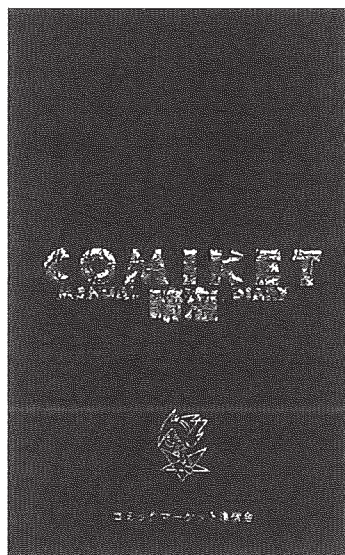
晴海に会場を移し、スタッフの数が増えた83年頃から、スタッフのためのマニュアルが作られるようになりました。最初は、試行錯誤が続き形式はまちまちでした。TRCに移転するころに小冊子にまとめられた形が定着しました。ここでは84年発行のスタッフマニュアル中心に紹介します。

コミケット26スタッフマニュアルより
1984年8月発行

スタッフのタイムテーブル

人数	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
プロダクト	20													
サー	20													
会場 運営	10													
参加者案内係	3(R)													
サークル受付	20													
サークル受付係	5													
入場係(12F)	2~3													
日付印刷係	20~													
加印係	10													
B館案内係														
監視員														
ゲート係	8(R)													
整理員	1(R)													
受付 1F2F名														
加印係	4~													
次回申込受付	2													
忘品物係	2													
会計係														
おみやげ係	2													
ラッキー	3~													
紙袋	2~													
テレフォン														
スタッフ係	2													
出口整理員														

自分の係の所
を赤丸をつけて
おこう!!



COMIKET MANNUAL&DIARY 目次

【基礎編】

コミケットはこう動いている.....4
 コミケットの組織と運営.....12
 スタッフとしての注意事項と特典.....14
 コミケット用語辞典.....16

【応用編】

スタッフの諸注意・仕事編.....20
 各担当の実務
 ブロック担当.....21
 混雑担当.....27
 外部販売担当.....28
 受付担当.....28
 入口ゲート担当.....38
 搬入担当.....40
 総本部.....42
 救護マニュアル.....44
 事前準備.....45
 前日準備(前日設営).....45
 閉会後.....52
 コミケットの合宿案内.....53
 緊急時の対処・火事地震等の対策.....56
 救急処置と救急患者の運び方.....58
 コミケットQ&A.....59
 よく聞かれる、時間・場所・取扱物とその値段.....63
 関係連絡先一覧.....64
 コミケット・サービスマニュアル.....78
 主なスタッフのプロフィール.....69
 コミケット組織図.....95
 コミケット関係地図.....79
 晴海周辺.....79
 共信印刷.....79
 新橋区民会館・上原区民会館.....80
 下北沢周辺
 (コミケ部屋・サービス・池の上青少年会館・第7出頭所).....81
 DIARY.....82
 パーソナル・メモ.....96

コミケット32マニュアルより
1987年8月発行

スタッフ心得十箇条

- 一つ、スタッフは落ちつかねばならぬ
- 一つ、スタッフは自主的であらねばならぬ
- 一つ、スタッフは怒ってはならぬ
- 一つ、スタッフは権力的になってはならぬ
- 一つ、スタッフは逃げてはならぬ
- 一つ、スタッフは積極的であらねばならぬ
- 一つ、スタッフは常識(モラル)を持たねばならぬ
- 一つ、スタッフは優しくあらねばならぬ
- 一つ、スタッフは状況を考えねばならぬ
- 一つ、スタッフは勝たねばならぬ

【このマニュアルの使い方】

・このマニュアルは2つの部分に分かれています。
 [基礎編]では、コミケットの仕事の大まかに説明し、初めてスタッフに参加する人でも、コミケットがどう動いているか判るようになっています。
 [応用編]では、各係の仕事の中で変化の少ない部分を、出来るだけ、具体的に説明してあります。自分の仕事でわからない部分や、もう一度確認のためにも、よく読んでください。また、他の係がどんな仕事をしているのかよく知って、コミケットの作業に役立ててください。

尚、場所・料金・時間等、各コミケットごとに変動するものは、各回毎の直前に渡される〔当日マニュアル〕を参照してください。

・このマニュアルには、仕事マニュアル以外にも、スタッフ・リストや、関係連絡先一覧、会場案内図等が入っていて、万能同人誌手帳としても使えます。即売会の際はいつも携帯しておく便利です。特にコミケットの当日は、必ず身につけて、判らないことがあったら、すぐ見て確認するようにして下さい。

コミケット・スタッフとなったあなたは、当然のことながらスタッフとして、参加者やサークルの前に立つこととなります。スタッフのあなたの挙動は、そのまま、準備会の対応として捉えられます。このことを心に留め、絶えず次の諸点を念頭において動いて下さい。

①スタッフの活動の最大の目的は、コミケットの安全かつ円滑な運営です。

「安全」を何よりも心掛けて下さい。一つの事故がコミケットの破滅につながりかねません。現実にはスタッフは書類上、自衛消防隊のメンバーにもなっています。このことから判断で最優先されるのが、安全だとわかんと思います。次に円滑な運営。円滑などは、混乱なく参加者がコミケットを楽しめることです。強権的に秩序づけることは違います。気を付けてください。

それから、『コミケット』を私用、私利私欲の為に使わないように。万が一コミケットが不利な立場に立つ事が無いよう、名刺、コミケットの名を冠した署名記事等個人の判断では行わない。

②スタッフは、参加者への奉仕者です。

スタッフは指示を出したりする仕事が多い上、大勢の人を相手にしなければならず、ついつい、言動が高圧的になったり、大声を出したりしかちです。また、参加者、特にサークルはスタッフに対して、下で出ることが多いので、自分が偉くなったように勘違いするスタッフも時々あります。しかし、これは大きな間違いだとしっかり覚えておいてください。

スタッフは決して一般参加者やサークルの上に立つ存在ではありません。互いに協力して、コミケットを作りあげていく一員なのです。変な特権意識を持っている人にスタッフの資格はありません。

具体的には次のような点に注意して下さい。

- ・高圧的な言動はしない。
- ・感情的にならず冷静な態度を保つ。
- ・むやみに大声を出さない。
- ・対応は丁寧に、相手の身になって。
- ・コミケットのお祭り気分が湧かず、常識と冷静さを保つ。

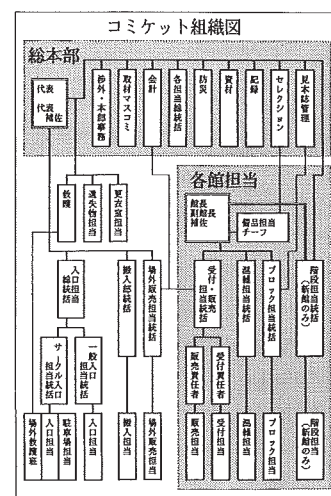
③自発的な積極性と、慎重な状況判断をする。

少し矛盾した事ですが、スタッフの仕事には、臨機応変の対応が必要な場合と、全体の状況を見て慎重な判断が必要な場合とが出てきます。問題が起きそうなのに見て見ぬ振りをしたり、些細なことを一々責任者に相談しては、ただでさえ多いスタッフの仕事は増えていくばかりです。しかし、かといって勝手に独断で仕事をしては、全体が混乱してしまいます。コミケットでは小さな事でも全体と関わりを持っているケースがままあるからです。中々境界を引くのは難しいのですが、問題解決には積極的に取り組み、柔軟な姿勢で対処するとともに、少しでも判断に迷ったりやばそうだと感じたら、ともかく責任者に相談するようにして下さい。

④スタッフ同士協力し合う

当然の事のように見えますが、コミケットのような大きな組織で仕事が細分化されていると、現場ではスタッフ同士がぶつかり合うケースが意外と見られます。お互い話し合おう、責任者に相談して、スムーズに運ぶようにしましょう。

COMIKET MANNUAL&DIARY89より
1989年3月発行



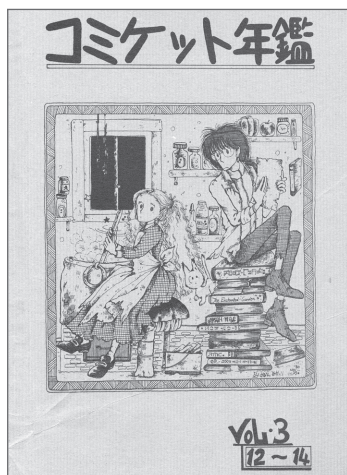
COMIKET MANNUAL&DIARY89より
1989年3月発行

コミックマーケット準備会はこれまで紹介した、アピールやカタログ以外にも様々なものを発行、作成してきた。現在も発行されているものもあるが、わずかな期間しか作られなかったものもある。このコーナーではそれらを紹介する。

コミケット年鑑



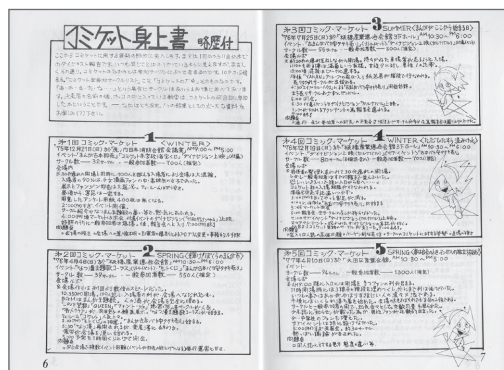
COMIC MARKET年鑑第1回～11回
発行日：1979年7月28日 B5判 32P



コミケット年鑑VOL.3 12-14
発行日：1980年12月14日 B5判 32P
表紙：めるへんめーかー



COMIKET年鑑 15-19
発行日：1982年3月21日 B5判 24P
表紙：さえぐさじゅん



コミケット年鑑はその年に行われたコミケットの記録である。最初に発行された「第1回～第11回」は例外として4年分の記録が載せられている。各回の記録である「身上書」は今回のクロニクルのデータと概況に使われている。また、C1からC11までの全参加サークルの住所を載せたリストを掲載。通販の重要度が現在と比べものにならないほど大きかったためである。「12～14」と「15～19」にはサークルリストの他に、各回のマンガレポートが掲載されている。

コミケットマガジン



コミケットマガジン創刊準備号
発行日：1992年8月15日 B5判 12P



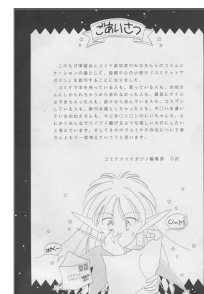
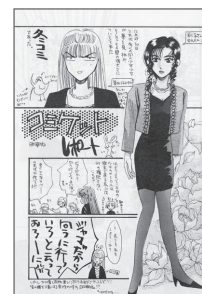
コミケットマガジン創刊準備号VOL.2
発行日：1993年5月5日 A5判 24P



コミケットマガジン創刊準備号その3
発行日：1993年8月15日 A5判 24P



コミケットマガジン創刊準備号VOL.4
発行日：1993年12月29日 A5判 24P

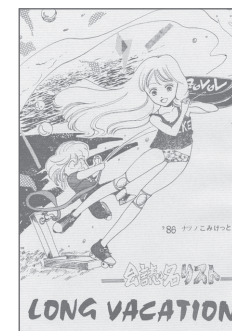


「カタログ」や「アピール」が準備会からの公式的で一般的なお願いや注意事項を伝えるための手段であるのに対し、準備会、サークル、一般、全ての参加者の生の声を伝えるコミュニケーションの手段として作られた小冊子。投稿記事を主体に作られた「コミケットマガジン準備号」は4冊発行された後、「コミケットプレス」にその役割を引き継がれることになった。

LONG VACATION



LONG VACATION '85
発行日：1985年7月14日 B5判



LONG VACATION '86
ナツノこみけつと
発行日：1986年7月1日 A5判



LONG VACATION '86
冬コミ誌名リスト
発行日：1986年11月1日 A5判

「コミケットカタログ」が50音順のサークルのリストと、サークル名の入ったカットで構成されているのに対して、各サークルの会誌名をブロックの順番に並べたリストを中心に構成された小冊子。コミックマーケット準備会の公式発行物ではなく、一部のスタッフ有志により、全て手作業で作られた労作。

コミケットセレクション

同人誌は発行が少数数と言うこともあり、失われやすいメディアである。作品集という形でコミケットの記録を残したいという企画から、コミケットセレクションが刊行された。初回発行時でコミケットの参加サークルが1500を越えていた状況では、全てのサークルの同人誌を丁寧に見ることは困難であったが、ジャンルの枠を越えて多彩な執筆者を集めたセレクションは、当時のコミケットの一断面を捉えたものとなっている。



コミケットセレクション'83

発行日：1983年12月25日
発行：コミック・マーケット準備会
A5判 318P

表紙イラスト：赤石沢貴士

執筆者：福田光世 火鳥紅星 まあし 妹尾昭雄 所-03 諸羽鹿乃子 麻 KEITH スタジオOUCH! かときすなお 真野と乃間 ひびき真理 霧島悠 森野うさぎ 有瀬美帆 恥元アンモナイト 破李拳竜and_His_friends 鳳巴乱 藪かつとしもん 園田健一 神沢真 水野流転 Jタイガー 折原みと 黒江湖月 INU JET 河内実加 水谷潤 ペンタッチ 岸田恋 中村公彦 竹田やよい 新田真子 米沢嘉博 コミケ女子スタッフ 汐見茂思 スタジオアームズ 阿部順子



コミケット年鑑'84

発行日：1985年8月10日
発行：コミックマーケット準備会
A5判 180P

表紙イラスト：最上景子

執筆者：下ヶ谷ピクス YUSHIKAI エンドウノリコ 西村博行 嶽崎千尋 湖東えむ 清水としみつ 水崎真由 金子きょうこ 時の翼スタッフ まのとのま 新田真子 めるへんめーかー 悠紀明 岩田次夫 土屋真志 米沢嘉博 アンケート統計局-(A) 橋敦 安田かや 海渡史由 夏芽ラジ 反在舎 園田健一 橋本和

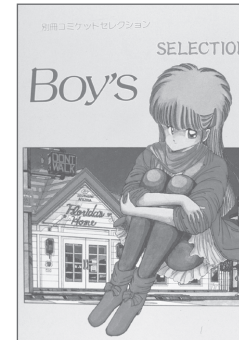


コミケットセレクション2

発行日：1986年8月10日
発行：コミック・マーケット準備会
A5判 196P

表紙イラスト：みずき健

執筆者：杏夢 迎麻紀 木戸恵 あろひろし 織田武士 嶽崎千尋 サミーブラウン 小林治 瀬緒 アースーシー・S 松崎司 若島津健 クリス 米澤嘉博 早瀬たくみ FRED=KELLY まいなあぼおい そうだまさゆき 尖美樹 J・O JET ペンタッチ 田中正則 宮坂一弘 OFFICE_BAKU



別冊コミケットセレクションBoy's SELECTION

発行日：1987年1月1日
発行：コミック・マーケット準備会
A5判 188P

表紙イラスト：高瀬遙

執筆者：高瀬遙 あらきあきら 安原いちる 滝季山影一 服部弘キ 岩田知人 楠螢 みなみおゆみ 西町唯子 さわらせい はやしあきひこ おげがわ太郎 おんだみあ LIME 宮下益弘 ペンタッチ 陣内まこと KEITH 西崎まりの 魔矢流星 曾野一 西村博之 新田真子 岩気祐司 小坂孝志



別冊コミケットセレクションGirl's SELECTION

発行日：1987年1月1日
発行：コミック・マーケット準備会
A5判 184P

表紙イラスト：鳳巴乱

執筆者：神谷香緒里 MEGU 篁よしやす 水無月明日香 小森星夜 水咲来夢 さけこ 行雲流水 木戸恵 はちまき チアノーゼ小泉 里透みどり 石川良子 まのとのま ふじおきゆいな 本郷美津帆 省さん 山田ユウコ おおや和美 鳳巴乱 矢沼文佳 迎モートン・ハルケツト麻紀 むらかわみちお 黒江湖月



COMIKET SPECIAL

発行日：1987年8月8日
発行：コミック・マーケット準備会
A5判 164P

表紙イラスト：乙田基

執筆者：〔キャプテン翼〕みずき健 へうがけん 尾崎南 若島津ビビンバ 鳳巴乱 さいがががり 巢田祐里子 藤置ゆいな 須賀邦彦 まのあそのか おおや和美 〔聖闘士星矢〕蘇河仁 福本むつみ さいがががり 岩崎つばさ 石堂摩有 清流 葵澤もんじゃ前川 出戻蘭子 徳田みどり 厦門潤 やぎざわ梨穂 Dr.Moro 野比省子 源氏のお町 鳳巴乱



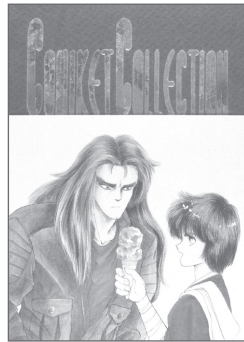
コミケット・セレクション3

発行日：1987年8月8日
発行：コミック・マーケット準備会
A5判 220P

表紙イラスト：鶴飼洋行

執筆者：さえくさじゅん あおいそら 鈴原麻葵 新井聖子 菜露与糸可 横山浩子 楠螢 倉田一平 T.Aこと赤山寿文 里透みどり 中村恭子 伊藤明弘 きくぞう 神代遥 神本翔 天野慧 鶴飼洋行 MITSUhide 神谷和巳 次元螢 KEKERO MASH 米良仁 嶺あきら きくちみちか 迎モートン・ハルケツト麻紀

コミケットセレクション

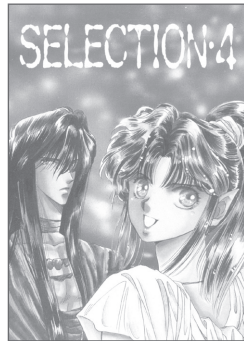


COMIKET COLLECTION

発行日：1988年1月1日
発行：コミック・マーケット準備会
A5判 220P

表紙イラスト：小林昭夫

執筆：花津美子 みさきり 須賀邦彦 へうがけん ぬえりつき みずき健
蓬田麦 虎猫突好隊 巢田祐里子 ゆうくりっど フェニックスこすり 石堂摩有
徳田みどり 佐々木みすず やぎざわ梨穂 有沢夏巳 後藤星 中条義高 三津谷葵
佐野真砂輝 一条早希 小林昭夫 めで鯛 神仁 蘇河仁 NYAN 迎夏生 峰倉由比
ひらのあゆ 山崎那穂 潮藍 藤本孝人 神竜千佳子 柳沼潤 Dr.Moro



コミケットセレクション4

発行日：1988年8月13日
発行：コミック・マーケット準備会
A5判 292P

表紙イラスト：もこなあばば

執筆：辻よしみ 星ヒカル 寺尾ひろむ みらい辰・しもがやびくす 門井亜矢
美龍 B・O・マック 小林智美 もこなあばば 佐村智子 ROY.D 浅井れい 新名宵子
美崎猛 大島桜こいの 八重桜鹿乃子 まさや 七瀬みく 加賀谷鴻一 宇都宮齊
弾超七改め文月始 島田ひろかず 小田時哉 昴三平 九尾たかこ 前田明 里中守
山口飛陽 土手淵草子 乗越たかし 柴田文明 風祭壮太

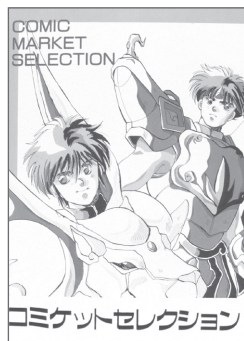


コミケットセレクション5

発行日：1989年8月13日
発行：コミック・マーケット準備会
A5判 252P

表紙イラスト：碧也びんく

執筆：恵迪美嶺 金ひかる 夢野みん かんべあきら 七色虹子 碧也びんく 夢殿
ふじしんいち 山猫三人衆 平野にゃあこ 篠原酒神 錦織すけきよ Jun
Lagartija_Nick 荒木瑛 カンガルー=大下 辻堂基 クリーマ・クリープ 菱沼克美
円光寺染子 岩崎かづき KIRI 毛羽毛現 天野利砂 尾崎芳美 さくらのみお 楽居
黒沼オディール 蒙古人英 千鳥さい子 沖麻実也



コミケットセレクション6

発行日：1990年8月18日
発行：コミック・マーケット準備会
A5判 436P

表紙イラスト：むっちりむうにい

執筆：水穂薫 平成MON 柴野あずみ 昭次・ラ・マンチャ 地藏菩薩 むっちりむうにい 香
陣内貴子 光・ラ・マンチャ 隆沢裕哉 ZELDA 森永グリ子 高城里良 篁よしやす 狭霧家薫
あら子 & そわんな のみやま拓美 宇野朗 横倉かずみ 中島俊 笹本一裕 あまみや樹 AYA
らつきよ 太郎 穂積隆之 アルマジロ 森口悠夜 矢津沢忍 高橋直純 篤見唯子 平目貝 あそ
次元美良 羅漢仁風 & 飛翔白麗 博多ばある GOEMON はせくらしお 塚原大 内藤泰弘
沖麻実也 春日ひろ 夢路行 天然堂 りん 魔詞不思議 香月昇 森村麻生 水栗優 三崎尚人
平目魚 森口悠夜 高橋直純 新八雲 なつきありみ

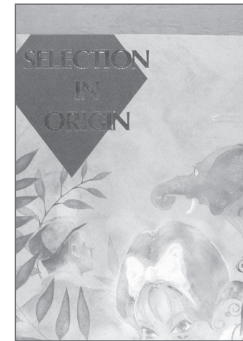


コミケットセレクション7

発行日：1991年8月16日
発行：コミック・マーケット準備会
A5判 116P

表紙イラスト：四位広猫

執筆：伊達皆無 羽柴麟 鳥羽笙子 結城一馬 滝沢和海 HARUE_LE_PON
夢野みん+新八雲 あづみ亭 カンガルー=大下 穂積隆之 日向朝衣 草薙冬子
みとこんどりあ港 Yamazaki&M本



SELECTION IN ORIGIN

発行日：1991年12月29日
発行：コミック・マーケット準備会
B5判 116P

表紙イラスト：いなご

執筆：いなご 水口知子 なみじてつろう 大連 こんにちは新谷成唯です
押田J・O 神谷香緒里 小林こずえ しんぼけえこ 大乃国ぼん 恩田美亜
PINEU あさかおく斗 雷太郎 おときたかを ふいの



コミケットセレクション8

発行日：1992年12月29日
発行：コミックマーケット準備会
B5判 76P

表紙イラスト：徳川蘭子

執筆：平忠子 Mr.黒猫 徳川蘭子 フェニックスこすり
麻里おりえ 平ゆり 森永グリ子 かつみキイチ



コミケットセレクションIN ORIGIN2

発行日：1993年8月15日
発行：コミックマーケット準備会
B5判 100P

表紙イラスト：九尾たかこ

執筆：相原ひでお 室伏香枝 小川浩一 HARAI SO
黄槻曜 大西湊 露崎雄偉 灯和 鈴木京香

コミケットプレス

サークル・一般参加者・準備会のコミュニケーションの場として創刊されたミニ情報誌。コミケットの申込書を購入すると、もれなく1冊ついてくる。



コミケットプレス1
C47.1994.12.29-30
表紙 門井亜矢
裏表紙 うりうさおり
特集 自主規制



コミケットプレス2
C48.1995.8.18-20
表紙 竹田やよい
裏表紙 おれんすじゃっく
特集 コミケット20周年



コミケットプレス3
C49.1995.12.29-30
表紙 山崎貴一
裏表紙 廣末さゆり
特集 新会場・東京ビックサイト



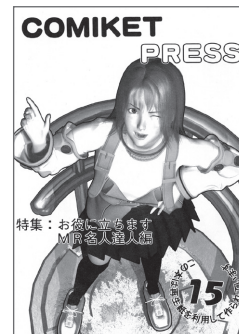
コミケットプレス4
C50.1996.8.3-4
表紙 S・茶屋町
裏表紙 CAT
特集 どーする?徹夜組



コミケットプレス13
C59.2000.12.29-30
表紙 泉みなと
裏表紙 ツキミラサキ
特集 スタッフの天国な地獄な1日①



コミケットプレス14
C60.2001.8.10-12
表紙 久下じゅんこ
裏表紙 トシハルオ
特集 スタッフの天国な地獄な1日②



コミケットプレス15
C61.2001.12.29-30
表紙 中戸川収
裏表紙 桐谷砂登子
特集 お役に立ちますMR名人達人編



コミケットプレス16
C62.2002.8.9-11
表紙 天草ボチ
裏表紙 烟巻和美
特集 コミケのそこにある危機



コミケットプレス5
C51.1996.12.28-29
表紙 相田みゆき
裏表紙 立野真琴
特集 コスプレ



コミケットプレス6
C52.1997.8.15-17
表紙 仙人の卵
裏表紙 滝季山影一
特集 有明リターン&コミケマナー



コミケットプレス7
C53.1997.12.28-29
表紙 セツコ・山田
裏表紙 山田ミネコ
特集 印刷会社



コミケットプレス8
C54.1998.8.14-16
表紙 依澄杏稀
裏表紙 はつかり5号
特集 コミケットの事務作業



コミケットプレス17
C63.2002.12.28-30
表紙 歩詠味土
裏表紙 HITOりぶき
特集 好きになっちゃった海外イベント



コミケットプレス18
C64.2003.8.15-17
表紙 杉本要
裏表紙 たきむつみ
特集 なぜなぜ?どーして?企業ブース



コミケットプレス19
C65.2003.12.28-30
表紙 ししまるけんや
裏表紙 みのまおら
特集 52000人の本音



コミケットプレス20
C66.2004.8.13-15
表紙 まんぼう高橋
裏表紙 はみがきしんち
特集 気になる作家ベスト100



コミケットプレス9
C55.1998.12.29-30
表紙 七瀬葵
裏表紙 なるしまゆり
特集 コミケットの基礎知識



コミケットプレス10
C56.1999.8.13-15
表紙 睦月藤緒
裏表紙 鎌やん
特集 税金対策マニュアル



コミケットプレス11
C57.1999.12.24-26
表紙 ひのき一志
裏表紙 桃山恵
特集 踊る印刷会社



コミケットプレス12
C58.2000.8.11-13
表紙 此松里枝子
裏表紙 あおいみお
特集 著作権って何だろう?



コミケットプレス21
C67.2004.12.29-30
表紙 みつみ美里
裏表紙 品川かおるこ
特集 突撃!ビエンナーレ

コミケットプレス総集編

コミケットプレス総集編1
リゾコミin沖繩.2000.3.19
表紙 羽柴麟
裏表紙 横川俊
コミケットプレス1~5収録

コミケットプレス総集編2
C58.2000.8.11-13
表紙 羽柴麟
裏表紙 安田かや
コミケットプレス6~10収録

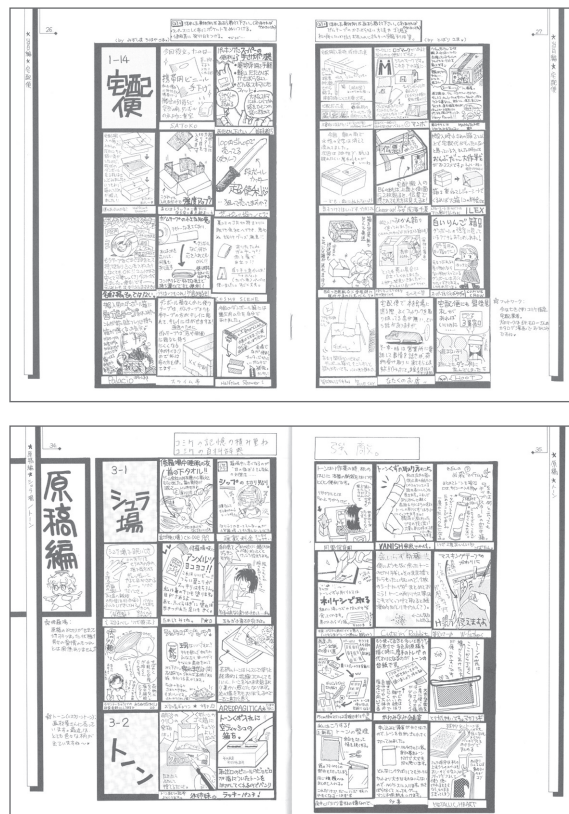
コミケットプレス総集編3
2003.4.5
表紙 羽柴麟
裏表紙 横川俊
コミケットプレス11~15収録

コミケのほへと



MRセクションVol.1
コミケのほへと 名人・達人セレクトBOOK
発行日：2002年12月28日 A5判 52P
表紙：MY子

「コミケットカタログ」のマンガレポートコーナーの「名人・達人編」と呼ばれる、お役立ちコママンガを1冊にまとめたもの。暑さ、寒さ対策などの「当日編」、ホテルなどの「前後編」と、シュラ場などの「原稿編」で構成されている。

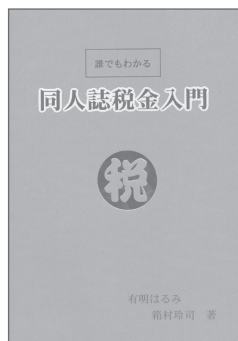


コミケット叢書

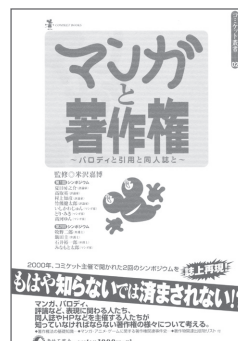
同人誌の生み出した作品、それに関する本を自ら出版することによって、同人誌の様々な側面を一般に知らしめ、同時にマンガの新たな面白さを探っていこうというシリーズ。



政権伝説
一橋本龍太郎の妙な冒険—
発行日：1998年12月29日
著者：滝季山影一



誰でもわかる
同人誌税金入門
発行日：1999年8月12日



マンガと著作権
～パロディと引用と同人誌と～
発行日：2001年8月10日

企業ブースパンフレット

増大する企業ブース来場者に向けて、コミケット参加のための注意事項をピックアップして掲載した企業ブース独自のパンフレット。その他、諸注意マンガや出展企業のPRカットなどで構成されている。コミケット当日、インフォメーション及び企業ブースで無料配布。



委託コーナーガイドブック

コミケットでは抽選漏れや日程などの都合で直接参加ができないサークルのために委託コーナーが設けられているが、これはそのコーナーのパンフレット。B5判で各サークルのカットや連絡先などの情報が掲載されている。



紙袋



C28・迎麻紀



C29・迎麻紀



C34・乙田基



C35・乙田基



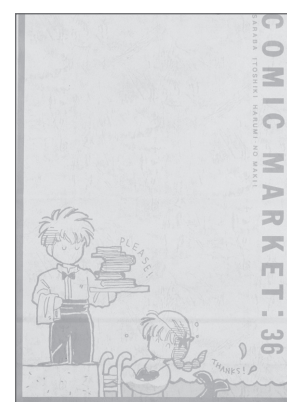
C30・火鳥紅星



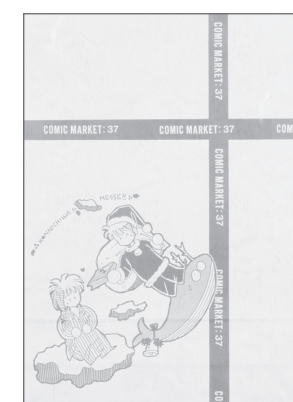
C30・弓月光



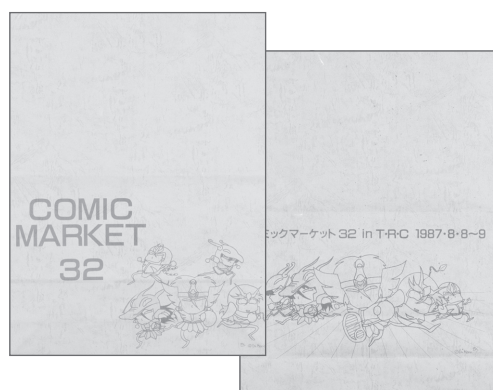
C31・廈門潤



C36・へうがけん



C37・へうがけん



C32・Dr.モロー



C33・Dr.モロー



C38・マークII



C38・くまだまり

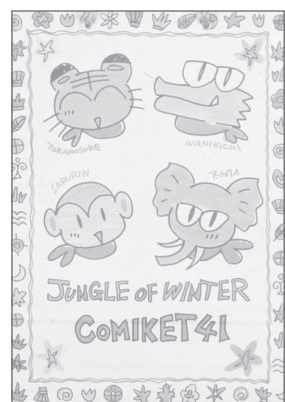


C39・くまだまり

紙袋



C40・まのとのま



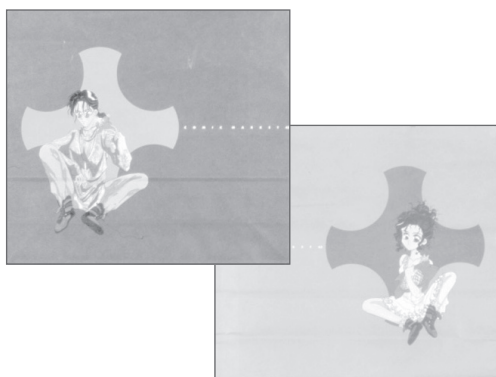
C41・まのとのま



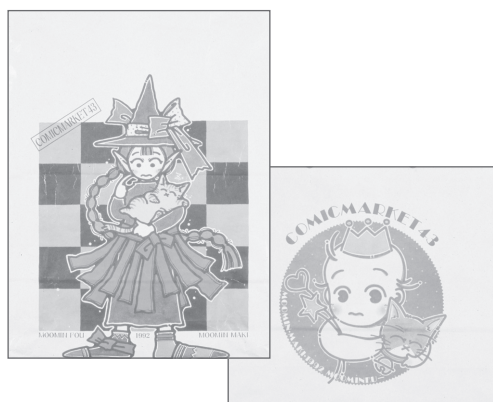
C46・川猫めぐみ



C47・タカハシマコ



C42・水沢充



C43・榎夢民



C48・友里のえる



C49・加藤茶吉



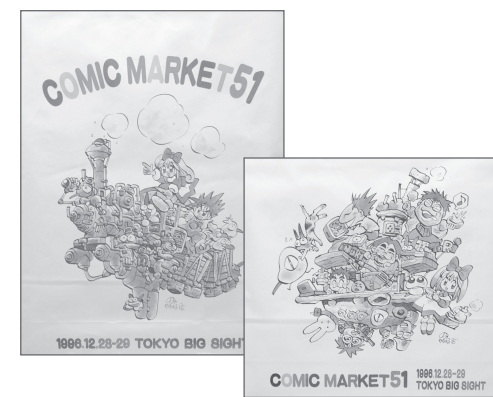
C44・ねこじゃらし倶楽部



C45・村田蓮爾



C50・セイン流



C51・乃美やすはる

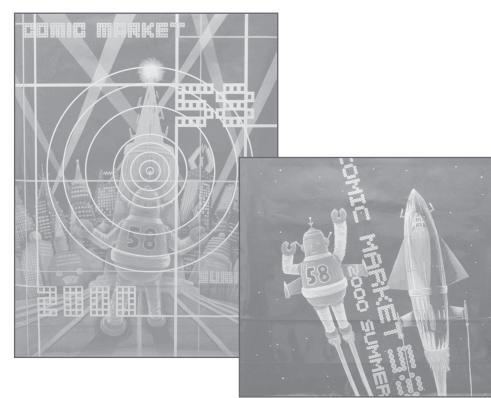
紙袋



C52・CHOCO



C53・下北沢鈴成



C58・古谷トシタカ



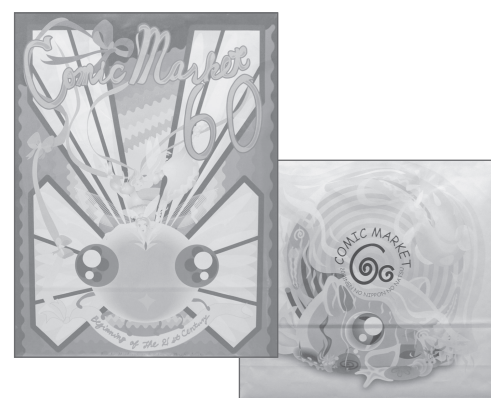
C59・亜樹良のりかず



C54・青樹総



C55・TORA



C60・潮干珠生姑



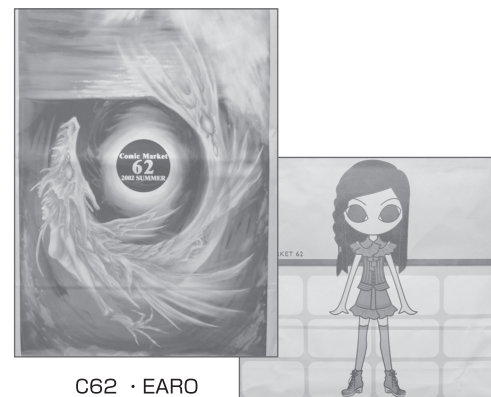
C61・高川ヨ志ノリ



C56・いちば仔牛



C57・りん



C62・EARO

C62・稲垣有

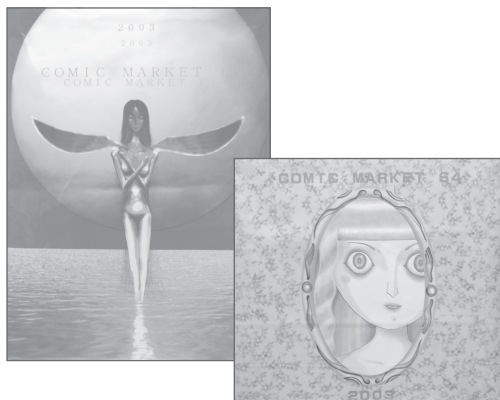


C63・篁よしやす

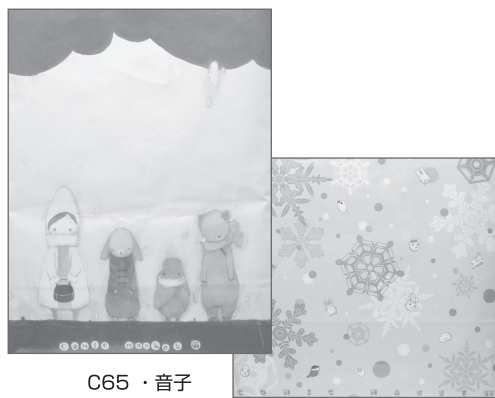
C63・浪花愛

準備会発行物

紙袋

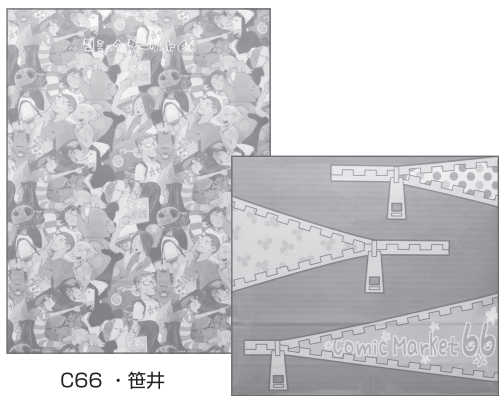


C64・御茶漬海苔



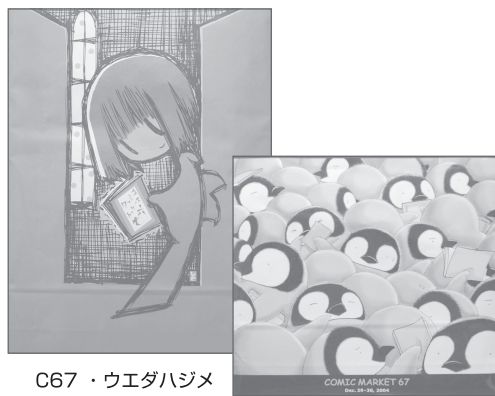
C65・音子

C65・ワダナラ



C66・笹井

C66・稲葉せいこ

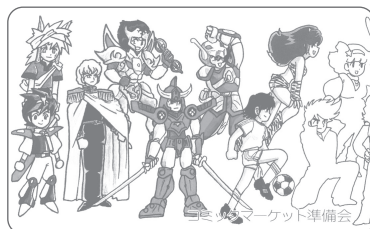
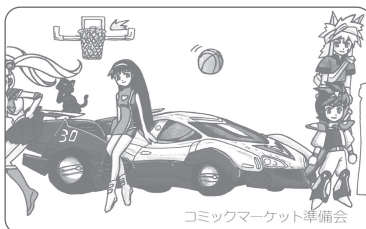
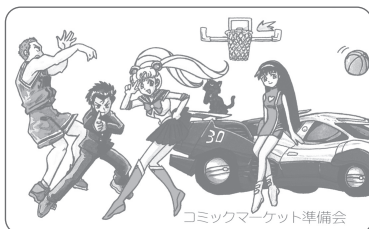


C67・ウエダハジメ

C67・真柴順

25周年記念テレカ

2000年3月沖縄コンベンションセンターで開催された「リソゴMin沖縄コミケットスペシャル3」にて、販売された記念グッズ。



新田真子